

大石 喜清氏林野庁長官賞受賞 ～平成26年度緑化功労者表彰～

1 はじめに

公益社団法人国土緑化推進機構による平成26年度の緑化功労者として、奥州市前沢区の大石 喜清氏（前 生母生産森林組合組合長）が選定され、5月に開催された全国植樹祭の席上で表彰されました。

2 大石氏の功績

大石氏は、平成20年から26年までの6年間、生母生産森林組合の第16代組合長として、民間企業で培った企業経営の知識と経験を存分に活かし、森林・林業再生プランに基づく、国の施策方針の転換に迅速かつ柔軟に対応し、県内の民間事業体として、いち早く森林経営計画の策定に取り組まれ、さらには、組合の長期的展望を見据えた、平成40年度までの15ヶ年計画を策定するなど、組合の経営安定に精力的に取り組まれてこられました。

また、平成19年から始めた地元小学校の卒業記念としての「イロハモミジの森づくり」、世界文化遺産平泉に関連した漆文化再興のための漆の植栽や、「月山松を守る会」の会長として取り組んできた重要松の保全などの地域協働活動に取り組まれ、地域林業の振興や活性化に大いに貢献されました。



【小学生による植樹活動】



【森林経営計画の策定検討】

緑化功労者の表彰は、去る5月14日に石川県で開催された全国植樹祭の席上で行われ、大石氏には、林野庁長官賞（感謝状）が授与されました。

これを受け、生産森林組合では、去る6月12日に受賞を祝う会を開催し、地元関係者のみならず、県内各地から100名を超す多数の方々に御臨席いただき、盛大に会が催されました。



【受賞を祝う会】



【林野庁長官賞感謝状】

4 60周年記念誌の発行について

生産森林組合では、昭和29年に地元は無償譲渡されてから、今年で60周年を迎え、「60年のあゆみ」を発行しました。大石氏が編集を担当し、研究者の寄稿や植樹体験した小学生の感想文、組合の沿革などをA4版88ページの冊子に仕上げ、地域全世帯に配布されました。



5 おわりに

今回の受賞は、大石様の御功績はもちろんのことでありますが、生母地域の関係者が一丸となって取り組んでこられた結果でもあり、地域関係者のこれまでの御労苦に対しまして、敬意を表します。